

「改めて里親について
教えてください。」

「さまざまな事情から
親元で暮らせない子ども
を公的に育てる制度の一
つです。家庭のぬくもり
の中で生活し、特定の大人
との信頼関係を構築する
ことは、子どもの心や
社会性の発達にとって重
要です。里親なく、家庭
に近い環境での養育を
国や県は推進していま
す」

「里親に欠かれないの
は児童養育への理解、熱
意、豊かな愛情です。研
修の受講など一定の要件
を満たしていれば特別な
資格は必要ありません」

「TFCはどのような
組織ですか。
「制度の普及啓発から
里親の養育力を向上させ
るトレーニングなどの研
修、委託後の支援まで一

栃木フォスタリングセンター長

ゆざわのりこ
湯澤 典子さん(60)



「子どもの笑顔が何よりのパワーの源。民間ならではの
本県らしい里親養育支援をしていきたい」と話す湯
澤センター長＝9日午前、宇都宮市駒生町の栃木フォ
スタリングセンター

買って取り組んでいま
す。里親に関心がある人
だけでなく、多くの人に
制度を知ってもらいたいこ
も非常に重要です。里親、
里子を特別視しない雰囲
気を社会で醸成すること
が、子どもの自「肯定感、

里親の絶対数向上につな
がるからです」
「TFCが発足して1
年。活動の手応えは、
「2022年3月末時
点で県内の登録里親は3
35組となり、21年3月
末から31組増えました。相
談の間口拡大や県内商

1962年鹿沼市生まれ。80年に県庁職員と
なり、県北児童相談所長などを務めた。2002
年4月から現職。同市花園町。

業施設でのPR活動など
を背景に、じわりじわり
と輪が広がっていると感
じます」
「里親にはどのような
サポートを行っています
か。」

「ベテランの里親や児
童養護施設の職員など、
制度に精通した人が「フ
オスタリングパートナー
」として支援していま
す。親権を持つ実親との
関係や真実告知など里親
特有の悩みがある中、家
庭訪問や電話相談など細
やかな援助で不安や苦勞
を軽減します。里親同士
の交流の場を作り、孤立
を防ぐことも大切です」

「里親等委託率は本県
全体で19.3%と、伸び
悩んでいる現状もありま
す。
「社会的養護を必要と
する子どもは3月末時点
で県内に611人おり、

このうち里親などに委託
されているのは188人
です。欧米主要国では半
数以上が里親委託である
のに対し、日本では全国
平均が2割程度と低認知
です。これには制度の認知
度不足や里親の絶対数が
少ないことなど、さまざま
な原因が挙げられま
す」

「県職員時代は行政の
立場から児童福祉の分野
に長く携わっていまし
た。
「一人一人の最適な養
育環境を考へ、県や児童
相談所が里親の認定や登
録、子どもとのマッチン
グを進めており、TFC
には里親や児童養護施設
運営者やさまざまな立
場の人が参加していま
す。経験や知識を生かし、
私自身もチームの一員と
して制度の推進に取り組
みたいです」
「安善安心な家庭で生
きていくことは子どもに
保障された権利です。里
親家庭を必要としている
子どもたちの存在を第一
に、職員一丸となって里
親養育に伴走していきたい
です」

「聞き手 斎藤愛、写
真 青柳修」

職員一丸、里親養育に伴走